

優れた技能の伝承に取り組む企業の事連発表及び意見交換会

- 1 日 時 平成29年8月25日(金) 午前10時から正午まで
- 2 会 場 ポリテクセンター徳島 会議室
(独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 徳島支部
徳島職業能力開発促進センター)
徳島市昭和町8丁目27-20
- 3 参加者 事例発表1名 意見交換5名 企業等からの参加者24名
- 4 事例発表 (株)ナカテツ徳島工場 工務部総務課長 野上博志 氏
- 5 意見交換 (有)工藤建設興業 専務取締役 工藤 伸二 氏
東光(株) 総務部長 上野 ひとみ 氏
(株)西渕スレート工業所 代表取締役 西渕 正和 氏
(株)松島組 代表取締役 松島 清照 氏

コーディネーター
(株)オフィスk o j o 代表取締役社長 小笠原 豊道 氏

6 概 要

(1) 事例発表 (株)ナカテツ徳島工場

テーマ：「技能伝承の取り組みと人財づくり」

三重県に本社があり、徳島工場は昭和45年に開設、自動車ベアリングの製造を主としており、従業員342人のうち徳島工場で227人が働いています。

徳島工場開設後、第1次オイルショック、リーマンショックの影響による経営苦難を経験してきましたが、いずれも、「ピンチをチャンス」としてとらえ、人員整理や事業縮小をせずに、製造現場の空き時間を利用して教育訓練等を実地してきた結果、技能の流出を防ぎ、企業としての競争力を維持することができました。

徳島工場では、工場品質目標に「企業は人なり、人材は人財なり」を掲げ、技能伝承と人財育成に取り組んでおります。

まず、技能伝承については、平成22年5月に企業内講習の場として「勝浦道場」を開設し、ベテランOB2名により、週3日間1日4時間を目処に、電気シーケンス、旋盤をはじめとした工作全般等について、訓練履歴評価表を用いて各従業員の技能レベルに応じた指導をしています。

また、技能検定試験の受検にも積極的に取り組んでおり、これまで69名が合格しています。直近の検定合格者に受検者の指導を担当させることにより、受検対策だけでなく指導力の向上にも役立てています。

工場内には実習用工作室を8箇所設置しており、技能検定受検の練習のほか、ポリテクセンター・取引先等が主催の外部講習や勝浦道場で習ったことを、復習するための環境を整えています。

徳島工場では、工作機械の改良やメンテナンスは自らが行うことを基本としており、勝浦道場等で習得した技術・技能が生かされています。

生産性向上や品質改善を図るため、毎年7月に徳島工場で「改善事例発表大会」(今年で28回目)を実施しています。事例発表は入社後2年～3年の者がすることとしており、課題解決に加えてプレゼン能力等の向上にも寄与しています。

発表大会は全員参加としており、他部署の取り組みを工場全体で共有する横展開が効果的に行われています。

従業員の資格や技能に関する評価制度を定めており、国家資格・技能検定合格、改善提案の貢献度等によって祝い金を支給したり表彰を授与しています。

また、工場入口の掲示板には国家試験合格者一覧を掲示するなど、従業員の意識や意欲の向上に努めています。

(2) 意見交換

○(有)工藤建設興業(鉄筋工事業、大工工事業)

業界の職人不足を感じており、特に30代以下の職人がいない。

現状を打開するため徳島県鉄筋工事業協同組合を設立、「ものづくりマイスター派遣」にも積極的に取り組み、若年者、特に高校生を対象に出前講座や工場見学を実施しています。

この出前講座等を通じて、社員が人に教える(技能伝承)ことに慣れていないということがわかり、社内における人材育成のヒントとなっています。

○東光(株)(医療用弾性ストッキング、サポーター等の製造販売)

新入社員へのフォローアップ研修を実施、また、幅広く知識や技能の人材育成を図るため、資格試験等は、先に合格した先輩が指導者となり、勉強会を開催して後輩の受検者に教えています。

また、品質に関しての取組として資格認定制度を設けているほか、慣れと油断を防ぐため、わざと不良品をラインに流して、発見したチーム・部署を表彰しています。こうした取り組みによって、自社製品愛を持ち、モチベーションが上がり、ひいては売り上げ増に繋がるものと考えています。

○(株)西淵スレート(屋根工事、リフォーム工事、スレート瓦の製造及び販売等)

アメリカに留学後、家業を継ぐために実家に戻ったのが始まりでした。

従業員は3人いましたが、当社で働くことに誇りを持っていないことに愕然としました。自信を持って働けない会社に技術向上はなく、また、社会に認められる職種・業界になれるよう努力しなければならないと思い、職人を全員正社員にして福利厚生を整えたり、従業員の意識改革にも取り組みました。

社員ひとりひとりの力を認め、また、ひとりひとりの意識を変えて行くことが

大事であり、技能伝承も、それぞれが学んでいこうという意欲・力が必要であると考えております。

○（株）松島組（注文住宅建設事業、一般土木、不動産事業等）

20年前から毎月1回、当社社員に加え下請け会社の社員さんにも参加を呼びかけ、技能継承や社員教育の一環として、シックハウス問題など時々の旬のテーマを取り上げた勉強会を開催しています。

この勉強会がきっかけで、平成18年4月から吉野川市の公民館と老人福祉センターの指定管理者となり、季節毎に様々なイベントを企画・実施し地域の方に楽しんでもらっています。

技術的な技能伝承は言うまでもありませんが、それと同時に郷土に誇りを持ち地域の歴史・史実も継承していくことが大事であると考えています。

（3）総括

○コーディネーター

各社とも様々な取り組みをされており、参加企業の方々も参考になったものと思われれます。

特に、（株）ナカテツ徳島工場においては、社内LANを利用して訓練等の写真や動画を共有しており、技術を分かりやすく伝える工夫をされている。

ITを活用した新しい教え方も技能水準の向上に役立つものと思われるため、こうした新しい取り組みも参考に、技能伝承や人材育成、働き方改革に繋げていただきたい。